

第二地連新聞

発	行	責	任
第	二	地	連
編	集	責	任
第	二	地	連
東	京	清	掃
第	二	地	連

2017年1月1日
第号



更なる新採獲得へ

新年明けまして
おめでとございませう

東京清掃第二地連議長

金子 寿夫

2018/05/01

5・1日比谷メーデーに臨む地連の仲間たち





2017年、第二地連の仲間の皆さん明けましておめでとうございます。

昨年はリオオリンピックの日本選手の活躍に日本中が歓喜する一方、4月に熊本地方を中心とした、大きな地震が発生、関連死を含め131人が犠牲になり18万人にも及ぶ避難者を出す大災害がありました。その後、各地で台風や極地的な豪雨等により甚大な被害を日本各地にもたらしました。自然の猛威に対し人間の力はあまりにも無力である事を考えさせられた1年であったのではと思います。

昨年、賃金確定闘争において3年連続のプラス勧告が出されました。しかし住居手当の段階的な引き下げ、年金の一元化により掛金の大幅な引き上げ等により首都圏で暮らす我々の生活は一向に改善されないのが実態です。今、日本の多くの企業は経済の先行きの不安から、利益を設備投資等に向けてことなく内部留

保に努めています。現在、企業の内部留保金額は300兆円にも及んでいます。非正規労働者が4割にも及ぶ社会の中、同一労働、同一賃金を基本に労働者全体の協力が求められます。

我々を取り巻く情勢も退職不補充の元、事業の委託化が進行しています。数区においては新規採用を獲得していませんが、多くの区において退職見合いで車付雇上が増加しています。職員の年齢構成にも大きなアンバランスが生じて来ているのが現状です。今後、多くの退職者を抱える状況の中、再任用職員の給与水準、職域の問題も喫緊の課題と言えます。

昨年アメリカ大統領選挙においてドナルドトランプ氏がヒラリークリントン氏を破り第45代大統領に就任する事となりました。貧困大国アメリカを象徴する結果と言えます。失業率が10%を超え、一部の大企業ばかりが、利益をむさぼり、大多数の国民は貧困に喘いでいるアメリカ、学歴

社会の中で大学の奨学金の返済が出来ず自己破産する多くの若者が後を絶たない現実、一向に良くならない経済の中でトランプ氏の数々の言動に対し賛同と期待する国民が多くなる結果ではなかったかと思えます。

TPPにPKO、PPAPと昨年は何かとPの付く事が話題になりました。世界各地で紛争が起きている中、一日も早いPeace (平和) が訪れる事を願いたいと思えます。

労働組合として反戦、平和、そして労働条件の向上、安心、安全な職場づくりが地連としての横の繋がりを基本に今年も4区5支部の仲間の皆さんと共に頑張っていくたいと思えます。1年間よろしくお願ひします。

第二地連議長

金子 寿夫



第二地連組合員の皆さん、新年あけましておめでとうございます。台東支部執行委員長の染谷智之です。

16賃金確定闘争では、民間企業の賃上げ結果を特別区職員の月例給及び一時金に正確に反映させるとともに、長年にわたる訴え続けてきた切替調整措置の終了、技能・業務系人事制度の改善、再任用職員の賃金水準の改善等に対し、区長会の前向きな姿勢を引き出すことが大きな課題でありました。

こうした中、第1波〜3波の集会・要請行動・家族署名等、組合員全員が取組んできました。そして今確定闘争では、初めて台東区職労の仲間と共に区長への要請行動を取組んできました。結果不満は残りますが、最終局面で技能・業務系人事制度の協議を担保させたことについて引き出した事は、大きな成果であります。

台東区では、2016年1月より台東区全域が戸別収集になりました。この戸

別収集は、住民生活に密着した質の高い公共サービスのの一貫であり、更なるごみの減量、リサイクルの推進、等住民と共に取組んでいかなければなりません。

今後区民からの期待や要望に応えるためにも、必要な人員は新規採用で確保させ、当局には安定的で安心、安全な清掃事業を直営で行うことを当局に粘り強く折衝・交渉等で訴えていく事が重要になります。

台東支部は、今年も強い団結力で、要求実現・新規採用獲得に向け全力で闘ってまいります。

定年まで安心して働き続けられる職場を確立する為、第二地連内4区5支部更なる団結をもって頑張っていくようにしましょう。

今年1年よろしくお願ひします。

台東支部
執行委員長
染谷智之



の皆さん明けてう
 しておめでとう
 ございませう
 退職不補充に
 よる毎年繰り
 げられる委託員
 減車の委託員攻
 撃の一の中、北
 率が一の高北高
 区民に高い年齢
 業者と訪して近
 者大の訪問、集
 小の学校、幼稚
 習の啓発活動、
 積、極的な取組
 の分、散々各戸
 集等様々に取
 組み。既に1年
 新聞に採り、ま
 職場に0歳以上
 も50歳以上と
 なつて、いまま
 ここの間に、区
 に対し、低めを
 招かすの、たの
 事業、今の後、
 事も、業の、後、
 招かすの、たの、
 事業、今の後、

北支部
副執行委員長
高橋敏光

する採用は不可
 規であることも
 であること、訴
 え、来ていない
 が、なかなかな
 現には至ってな
 い。人材育成は
 す。の投資、未
 ある意味、将来
 への投資、掛か
 長い期間が掛か
 ります。清掃事
 北の清掃事業
 が、今も円滑に
 区民に、円滑に
 確に、円滑に
 二、三、四、第
 の情報共有、第
 せ、今年、新
 今年、今年、新
 獲得、今年、新
 一丸、今年、新
 組、今年、新
 と、今年、新
 年、今年、新
 願、今年、新



第二地連の皆様、
 新年あけましておめ
 どうございます。
 また、我が支部選
 出の本部、桐田委員
 長においてもひとか
 たならぬご理解、ご
 協力を賜り誠にあり
 がとうございます。
 などと偉そうに口上
 をきると正月早々S
 Kホールで鬼の形相
 の桐田委員長が浮か
 んで戦々恐々してい
 ます。
 さて、正月早々の
 正月ですが昔の暦の
 一月を表しますが、
 今は三が日（1日、
 3日）や松の内（1
 日、15日）、今は1日
 （7日）と言う地域
 が多く見受けられる
 そうです。正月行事
 の一つに「七草が
 ゆ」があります。若
 い組合員は聞きなれ
 ない言葉かも知れま
 せんが、せり、なず
 な等の春の七草を入
 れたおかゆの事だ
 す。古の言い伝えで
 は1月7日の朝に食
 べると一年中病気に

ならないそうです。
 しかし、1月4日
 が仕事初めの我々
 は、ましてや一年で
 一番過酷な年始作業
 を行う我々の正月は
 「三が日」ととらえ
 3日に無病息災を願
 い七草がゆを食すの
 があっているように
 おもいます。
 古き良き伝統を継
 承する事は大切で
 す。
 しかし、継承だけ
 でなく時代にあった
 改革をする事も大切
 です。
 組合活動にも適用
 されるのではないで
 しょうか。私も今年
 30年という節目を迎
 えるにあたり、当時
 の清掃事業や組合活
 動を後進に伝え、良
 き事は継承すると伴
 に改革を後進が行動
 する時は全力でバッ
 クアップする事が中
 堅の役目ではないか
 と思います。
 清掃職場に対する
 改悪の風は年々激し
 さを増しています、

だからと言って諦めてしまえば後退するばかりです。

組合活動は継承していくことが重要で継承していく過程の中で改革の必要性が出てくるのではないのでしょうか。

我が支部は5年連続で新人獲得にいたっています、今後も更なる活動を進め我々主張をしていきたいと思えます。

労働組合にとって一番の敵は組合活動の諦めや無関心だともいえます。

組合員一人ひとりが問題意識を持ち支部、地連、本部に結集し一人の力を何百、何千と増幅し退職まで安全で安心して働ける職場を作るため連帯、共闘し頑張りましょう。

文京支部
副執行委員長

森田 秀和



地連の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年は、若干ではありますが給与と勤勉手当が増額されましたが、今年度で住宅手当の経過措置も終わり、ほとんどの組合員が可処分所得の減少が見込まれます。長期・短期の掛け金も増大し続け、介護保険の掛け金も段階的に増額されます。予想ではありますが、2019年からは介護保険だけでも月平均1972円増の試算も出ております。定数を減らされ仕事ばかり増えて、一向に待遇改善が行われませんが今年こそは皆様が納得いく処遇改善を勝ち取っていただければと考えております。

北工場支部は少人数ですが、地連の皆様と力を合わせて活動していきまますので、どうぞ1年間宜しくお願いいたします。

北工場支部
執行委員長

青木 一吉



新年あけましておめでとうございます。荒川支部で執
行委員長をしてお務めさせていただきます。佐藤
修一です。清掃事業が東
京都から特別
区に移管され
17年度は
荒川地区では
「清掃事業の
将来を基に28
方度(車を付
上12組)小雇
24名)が配員
され、後はた
今、後10年
先、据え10
を見進め、職
な進め、職
消滅したい
も、現実味を
び、てきまし
た。

「せるとは、質
な「安易に安
と「違う」良
ス「公共」組
合員実践が考
え、かなければ
いけません。
現在、荒川支
部の獲得新規採
用をめ、不燃資
た、復、不燃資
源の復活、当班
の「一緒に模索
し、安心です。
までも働き続け
ら「丸く荒川支
目「丸く荒川支
部「丸く荒川支
て「丸く荒川支
で「丸く荒川支
ろ、今年お願
します。

荒川支部
執行委員長
佐藤 修一



新年あけましてお
めでたいございま
す。我々青年部を取
り巻く状況は年々
厳しくなります。退
勤お休みの方々も
不補充の年々
と、青年部は年々
減少の一途となつ
ています。しかし
文京支部で5年連
続となる新規採用
があり、地連青年部
として、心強い思
い、です。年々拡大
撃の中心、10年後の
清掃事業を見据え
たときに、我々青
年部層が中心、的
な役割を担って行
かななくはなりま
せん。様々な課題
が山積、直営とし
況の中、営業とし
ての役割、サビ
スとの区民から求
められる事とは何
か、改め、見直す
り、家庭を守る運

動に繋がります。
清掃事業としての
職を守り、職のレ
ベルアップを図る
と共に、地連内
の学習・交流等
横のつながりが一
層強化されていく
が求められます。
「新規採用」「退
職まで安心して働
き続けられる職
場」を守る「生命と権利
を守りたい」と思
います。
「昨年の流行語に
「神ってる」が選
ばれました。
に腕章の赤の鉢巻
何か赤ヘルのカ
プとダブってしま
うのか？引き続
き本年もよろしく
お願いします。
よ。共に頑張りま

第二地連青年部
議長
野口 貴史